



紀の国わかやま国体・大会 文化プログラム(和歌山の文化・芸術の発信)

関西元気文化圏推進フォーラム「文化芸術の再発見」V

平成27年

6.27(土)

13:30~16:00まで

和歌山市民会館小ホール

(和歌山市伝法橋南ノ丁7番地)

体感しよう!

祭りのチカラ

当フォーラムは、「関西から日本の社会を文化で元気にしよう」という「関西元気文化圏」の取り組みとして、「文化芸術の再発見」をテーマに2013年度から年2回、関西各地で開催しています。

第5回の今回は和歌山県が開催県となり、2012年にユネスコの無形文化遺産に登録された「那智の田楽」の実演と、日本を代表する宗教学者である山折哲雄氏に基調講演をいただきます。

■ 基調講演

「日本の祭りと伝統芸能」

講師:山折哲雄氏(宗教学者)

■ 実演

「那智の扇祭り」に奉納される
「那智の田楽」

(国指定重要無形民俗文化財
ユネスコ無形文化遺産)

演者:那智田楽保存会



山折哲雄氏プロフィール

1931年サンフランシスコ生まれ。国際日本文化研究センター名誉教授(元所長)、国立歴史民俗博物館名誉教授、総合研究大学院大学院名誉教授。和辻哲郎文化賞、南方熊楠賞受賞。最新刊「これを語って日本人を戦慄せしめよ」「こころの作法」「歌」の精神史」等、著書多数。

定員/600名
(入場無料/事前申込・先着)



■主催 関西広域連合、関西元気文化圏推進協議会、和歌山県

■後援 古典の日推進委員会、歴史街道推進協議会 ■協力 文化庁、熊野那智大社



世界遺産である熊野那智大社では、毎年7月14日に、日本一の那智の滝を舞台に行われる「那智の扇祭り（なちのおうぎまつり）」が行われます。熊野の神々を載せた12基の扇神輿（おうぎみこし）と勇壮な火祭りで行われるこの祭礼は、今年3月に国の重要無形民俗文化財に指定されました。

また、扇祭りに奉納される「那智の田楽（なちのでんがく）」は、国土安泰や豊作を祈り奉納される神事芸能として熊野那智大社に古くから伝えられ、頭に笠をかぶった8人の踊り手が、笛の音に合わせて田楽特有の楽器であるピンザサラや腰太鼓（こしだいこ）などを鳴らし、踊りの隊形をさまざま替えながら熊野の神々へ奉納します。鎌倉～室町時代に流行した「田楽躍り（でんがくおどり）」の姿を今に伝える貴重な芸能として、平成24年12月にユネスコの無形文化遺産に登録されました。



■ お申し込み方法（入場無料）

参加希望者は、FAX、Eメール、ハガキのいずれかの方法により、

- ①関西フォーラム申込（タイトル） ②参加希望人数
- ③参加希望代表者の氏名 ④参加希望代表者の郵便番号、住所
- ⑤参加希望代表者の電話番号

をご記入の上、下記申込先にお申し込みください。

**お申し込みのあった代表者あてに参加希望人数分の入場券を
事前に郵送しますので、フォーラム当日に必ずご持参ください。**

【申込先】〒640-8585

（所在地の記載不要）和歌山県文化国際課文化振興班あて

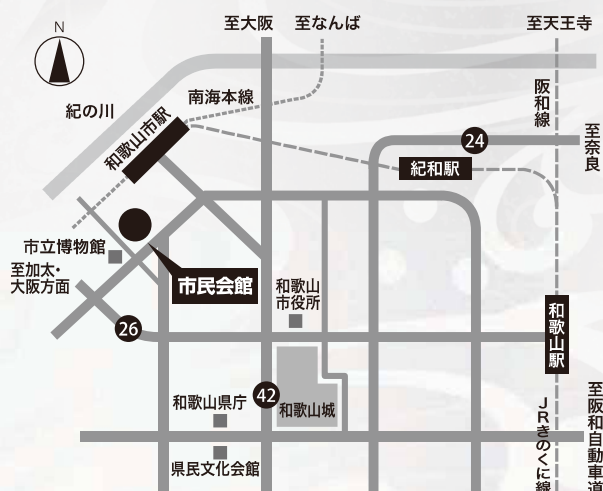
電話 073-441-2050 FAX 073-433-1192

E-mail: e0221001@pref.wakayama.lg.jp

【申込締切】平成27年6月12日（金）必着

※定員になり次第締め切らせていただきます。

【問合せ先】申込先と同じ



■ 交通案内

和歌山市民会館 小ホール

（和歌山市伝法橋南ノ丁7番地 電話073-432-1212）

JR和歌山駅より和歌山市駅行きバスで約15分。

南海和歌山市駅より南西（正面出口を出て右）へ徒歩5分。

※有料駐車場がありますが、できるだけ公共交通機関でお越しください。

FAX 073-433-1192

関西元気文化圏推進フォーラム参加申込書

参加希望人数

名

代表者氏名

〒

代表者住所

代表者電話番号

()

※申込時にご記入いただいた個人情報につきましては本フォーラムの目的以外には使用しません